

# 第10回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和2年9月1日（火曜） 午後 2時07分 開会		
	休憩		
	午後 2時11分 閉会		
	休憩時間： 0時間00分	会議時間： 0時間04分	
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 立川 美穂	委 員 梶澤 幸治	
	副委員長 渡辺洋一郎	委 員 寺町 平一	
	委 員 中田智恵子	委 員 広瀬 重雄	
	委 員 橋本 和仁	委 員 常通 直人	議 長 早苗 豊
説明員			
参考人			
欠席委員 氏 名			
事務局職員	事務局長 仲野 裕司	主査 上田 瑞紀	
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件 (1) 審査事項 ア 陳情第5号「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書の提出を求める陳情 委員長：本委員会に付託された陳情について、どのような方法で審査すべきか。 渡辺委員：陳情者を招致して、陳情趣旨の説明をいただいて、現場の声を聴いて審査をしてはいかがか。 委員長：それでは、次回の委員会で陳情者を参考人として招致し、陳情についての趣旨説明、それに対する質疑をし、その後、委員会で討論を経て、採決することをお諮りする。 (異議なし) 委員長：決定とする。</p>			

委員長：以上で審査事項「ア陳情第5号」を終了する。

イ 陳情第6号 「加齢による難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書」を国に提出することを求める陳情

委員長：本委員会に付託された陳情について、どのような方法で審査すべきか。

渡辺委員：陳情者を招致して、陳情趣旨の説明をいただいて、現場の声を聴いて審査をしてはいかがか。

委員長：それでは、次回の委員会で陳情者を参考人として招致し、陳情についての趣旨説明、それに対する質疑をし、その後、委員会で討論を経て、採決することをお諮りする。

(異議なし)

委員長：決定とする。

委員長：以上で審査事項「イ陳情第6号」を終了する。

### 3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

正副一任とする。

(2) その他

委員、議長、事務局ともになし。

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和2年9月1日

厚生文教常任委員会委員長 立川 美穂